本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

# 2218＊JA
# 取扱説明書

P

◆本機の特長◆

●ELオートライト

●ワールドタイム

●データバンク機能

●アラーム・時報

●ストップウオッチ

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

# 安全上のご注意

**絵表示について**

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

| | |
|---|---|
| ⚠ **危険** | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。 |
| ⚠ **警告** | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ **注意** | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

## 絵表示の例

△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。

⃠ 記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。

● 記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

### ⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。





### ⚠ 警告

**電池の取り扱いについて**

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

### ⚠ 注意

**お手入れについて**

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

## ⚠ 注意

### かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。



## ⚠ 注意

### 分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



### データ控えを作ってください

記憶させた内容は、備忘録やノートに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



### オートライト作動時のご使用について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

# ⚠ 注意

## ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。



# 目　次


安全上のご注意　1
ライト点灯について　8
操作のしくみと表示の見方　12
ワールドタイムの使い方　16
データバンク機能の使い方　20
アラーム・時報の使い方　25
ストップウオッチの使い方　29
時刻・カレンダーの合わせ方　31

製品仕様 …… 36
ご使用上の注意 …… 38
お手入れについて …… 42
電池交換について …… 43

# ライト点灯について

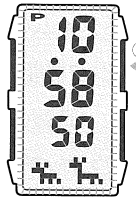
本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると文字板が発光するオートライト機能もあります。

## ■ボタンを押して発光させる～手動発光～

どのモード（セット中は除く）のときでも、

Ⓑボタンを押します

➔約1.5秒間文字板が発光します。




<時刻・カレンダーモード>

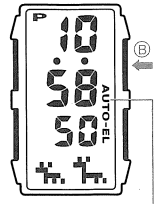


## ■時計を傾けて発光させる～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。暗い場所で、時刻やストップウオッチの計測値などを見るときに大変便利です。
オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけで文字板が約1.5秒間発光します。

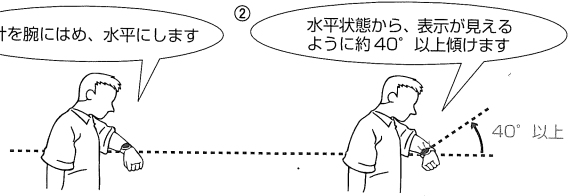
準備：時刻・カレンダーモードのとき、Ⓑボタンを約2秒間押し続けて、オートライトON（“**AUTO-EL**”点灯）にします。

※オートライトONのとき、Ⓑボタンを約2秒間押し続けるとオートライトOFF（“**AUTO-EL**”消灯）に戻ります。
※オートライトON／OFF設定は、時刻・カレンダーモードのときのみ行なえます。




オートライトONマーク

## ●文字板を発光させる




※オートライト機能を使用するときは、時計を**「手首の外側」**にくるようにつけてください。
※文字板の左右（3時－9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



### ＜EL発光についてのご注意＞

- ●直射日光下では発光が見えにくくなります。
- ●発光中にⒷボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- ●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。



### ＜オートライトご使用時の注意＞

- ●オートライトが作動するのは、**"AUTO-EL"**を点灯させてから**約2時間**です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に**"AUTO-EL"**が消え、オートライトOFFになります。

※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度Ⓑボタンを約2秒間押して**"AUTO-EL"**を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください（36ページ「製品仕様」参照）。

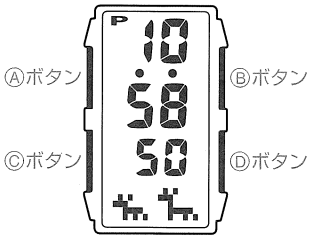
- ●時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- ●文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約1.5秒間のみとなります。
- ●時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFF**にしておいてください。

※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

- ●静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。

# 操作のしくみと表示の見方

★各部の名称



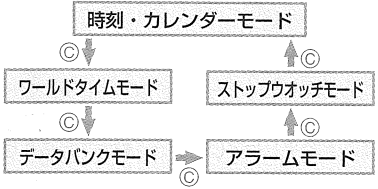

<時刻・カレンダーモード>

★モードの切り替え

Ⓒ ボタンを押すと以下の順でモードが切り替わります。

※どのモードのときでも、Ⓒボタンを約2秒間押すと直接時刻・カレンダーモードに戻ります。

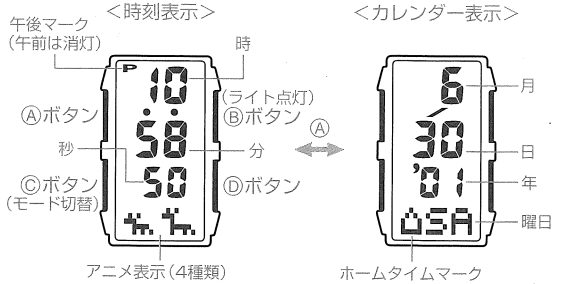
※データバンクモードのまま1～2分間すると、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。





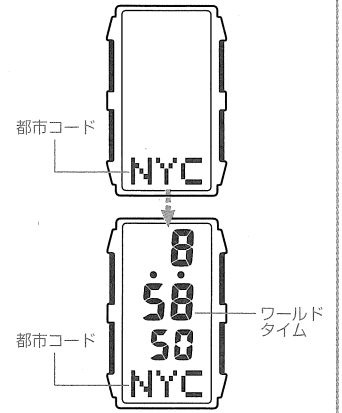

★各モードの表示の見方

## 時刻・カレンダーモード

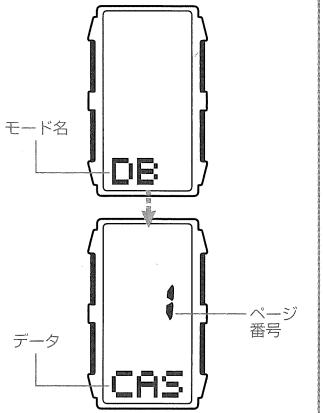



- Ⓐボタンを押すと時刻とカレンダーの表示が切り替わります。
- Ⓓボタンを押すとアニメが歩き出します（1種類）。
- 他のモードから時刻・カレンダーモードへ戻るときは、ホームタイムの都市コードを表示してから、時刻（またはカレンダー）表示に戻ります。

## ワールドタイムモード

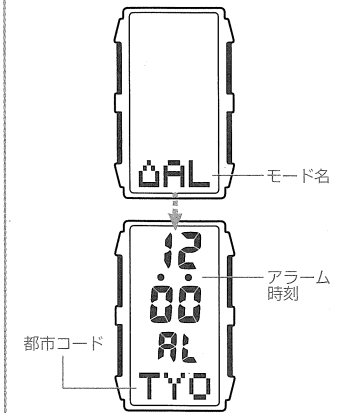



## データバンクモード

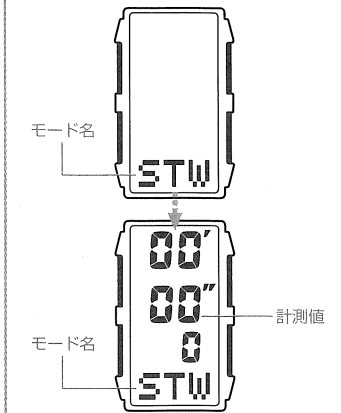





## アラームモード




## ストップウオッチモード



# ワールドタイムの使い方

ワールドタイムは世界27タイムゾーン（40都市）の時刻を簡単に知ることができる機能です。
ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻（またはカレンダー）を表示します。

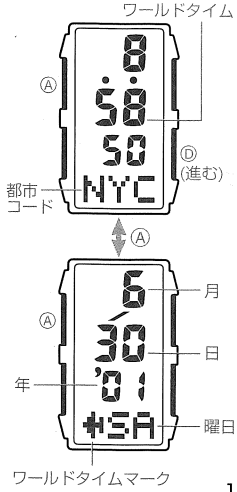
※時刻モードで都市コードをセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます（31ページ「時刻・カレンダーの合わせ方」参照）。
※ワールドタイムの「秒」はホームタイムの「秒」に連動して表示されます。
※ホームタイムを24時間制にしているときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。



## ■都市のサーチ

**ワールドタイムモードのとき、Ⓓボタンを押します**

➔Ⓓボタンを押すごとに都市コードが進み、都市の時刻を表示します。
※押し続けると早送りします。




**★ワールドタイムモードでの表示切替**

ワールドタイムモードのとき、Ⓐボタンを押すとワールドタイムのカレンダーを表示します。
※もう一度Ⓐボタンを押すとワールドタイム表示に戻ります。

## ■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。
サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご使用の際には十分ご注意ください。

## ■DSTのON／OFF設定

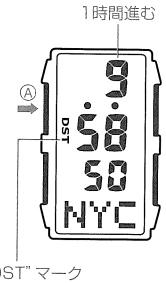
サマータイムのON／OFFを設定することができます。

**ワールドタイムモードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します**

➔"DST"マークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。

※DSTをONにすると、ワールドタイムモードで表示される全ての都市の時刻が1時間早まります。

※"DST"マークが点灯しているときに、Ⓐボタンを約2秒間押すと通常の時刻に戻ります。






## ■都市コード一覧

| コード | 時差 | 都市名 | コード | 時差 | 都市名 |
|---|---|---|---|---|---|
| PPG | −11 | パゴパゴ | JRS | +2 | エルサレム |
| HNL | −10 | ホノルル | JED | +3 | ジッダ |
| ANC | −9 | アンカレジ | THR | +3.5 | テヘラン |
| YVR | −8 | バンクーバー | DXB | +4 | ドバイ |
| SFO | −8 | サンフランシスコ | KBL | +4.5 | カブール |
| LAX | −8 | ロサンゼルス | KHI | +5 | カラチ |
| DEN | −7 | デンバー | MLE | +5 | マーレ |
| MEX | −6 | メキシコシティ | DEL | +5.5 | デリー |
| CHI | −6 | シカゴ | DAC | +6 | ダッカ |
| MIA | −5 | マイアミ | RGN | +6.5 | ヤンゴン |
| NYC | −5 | ニューヨーク | BKK | +7 | バンコク |
| CCS | −4 | カラカス | SIN | +8 | シンガポール |
| RIO | −3 | リオデジャネイロ | HKG | +8 | 香港 |
| LON | +0 | ロンドン | SEL | +9 | ソウル |
| PAR | +1 | パリ | TYO | +9 | 東京 |
| MIL | +1 | ミラノ | ADL | +9.5 | アデレード |
| ROM | +1 | ローマ | GUM | +10 | グアム |
| BER | +1 | ベルリン | SYD | +10 | シドニー |
| IST | +2 | イスタンブール | NOU | +11 | ヌーメア |
| CAI | +2 | カイロ | WLG | +12 | ウェリントン |

※この表は2000年6月現在作成のものです。
※この表の時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

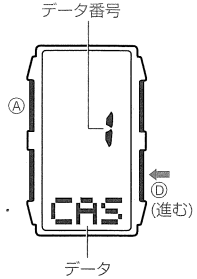
# データバンク機能の使い方

データバンクモードでは1件につき24文字のデータを15件まで記憶できます。
データバンクモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

## ■データを探す

**データバンクモードのとき、Ⓓ ボタンを押します**

➔Ⓓ ボタンを押すごとにデータが順番に進みます。
※押し続けると早送りします。
※データを4文字以上入力したときは、右から左に流れるスイープ表示となります(データの最後に"◀"マークがつきます)。
※スイープ中に Ⓐ ボタンを押すと表示が止まります。もう一度、Ⓐボタンを押すとスイープを再開します。





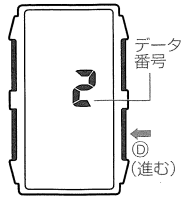

## ■データを入力（修正）する

(1)データバンクモードのとき、

**Ⓓ ボタンを押して空きページ（修正ページ）を表示させます**

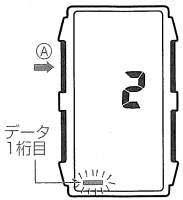
※データがすでに15件記憶されているときは、不要なデータを消してください(24ページ「■データを消去する」参照)。

<空きページ表示>




(2) **Ⓐ ボタンを約２秒間押します**

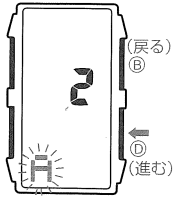
➔データの１桁目が点滅します。



(3) Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➔Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

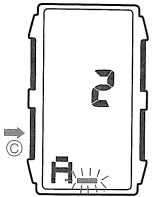
※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。




(4) Ⓒ ボタンを押します

➔点滅箇所が右に移動します。

※Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が「データ1桁目～24桁目→データ1桁目…」と移動します。点滅箇所がセット可能ですので、Ⓒボタンでセットしたい箇所を選びます。






(3)～(4)の操作を繰り返して、データを入力（修正）します。

※データは最大24文字まで入力できます。

※入力できる文字は（スペース）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（．－／）です。

(5) セットが終わりましたら、Ⓐ ボタンを押します

➔点滅が止まり、入力（修正）したメモデータを表示します。

※点滅表示のまま１～２分間すると、自動的に点滅が止まります。

※続けてデータを入力したいときは、(1)～(5)の操作を繰り返し行なってください。

## ■データを消去する

(1) Ⓓ ボタンを押して消去したいデータを選びます

(2) Ⓐ ボタンを約２秒間押します

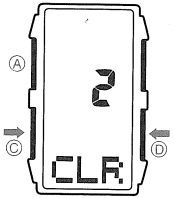
➔データの１桁目が点滅します。

(3) Ⓒ ボタンと Ⓓ ボタンを同時に押します

➔“CLR” 表示後、データが消去されます。

※消去後は新たなデータを入力できます。

(4) 消去が終わりましたら、Ⓐ ボタンを押します






# アラーム・時報の使い方

アラームは時分を設定でき、設定した時刻になると１０秒間電子音が鳴ります。また、毎正時（００分）に時報を鳴らすこともできます。

※アラーム･時報はホームタイムまたはワールドタイムに合わせて鳴らすことができます。

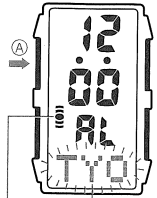
## ■アラーム時刻のセット

(1)アラームモードのとき、

Ⓐ ボタンを約２秒間押します

➔「都市コード」が点滅します。

※アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。



(2)「都市コード」を選ぶ

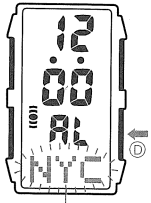
Ⓓ ボタンを押します

➔Ⓓ ボタンを押すごとにホームタイム都市とワールドタイム都市＊が切り替わります。

＊ワールドタイム都市は、ワールドタイムモードで表示させている都市のみ表示します。

※ホームタイムに合わせて鳴らしたいときはホームタイム都市を、ワールドタイムに合わせて鳴らしたいときはワールドタイム都市を表示させます。

※ホームタイムまたはワールドタイムをサマータイム（DST）ON設定にしているときは、アラームモードでも“DST”マークが点灯します。

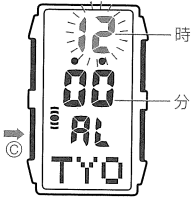



(3) Ⓒ ボタンを押します

➔アラーム時刻の「時」が点滅します。

※「時」の午前／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※ホームタイムを24時間制にしているときは、アラーム時刻も24時間制で表示されます。





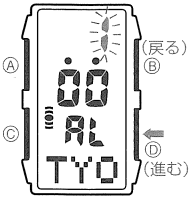

(4) Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➔Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

(5) Ⓒ ボタンを押します

➔アラーム時刻の「分」が点滅します。「分」も「時」と同様に Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して数字を選びます。




(6) Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま1～2分間すると、自動的に点滅が止まります。

＜ご注意＞

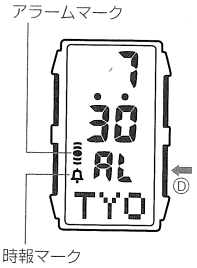
セット後、ホームタイム都市またはワールドタイムモードで表示させている都市を変更すると、アラームモードで設定した都市も自動的に変わります。

## ■アラームのON／OFF設定

**アラームモードのとき、Ⓓボタンを押します**

➔Ⓓボタンを押すごとにアラームマーク・時報マークが点灯／消灯を繰り返します。

※マークが点灯しているときがON、消灯しているときがOFFとなります。




## ■モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓓボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

## ■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。



# ストップウオッチの使い方

ストップウオッチは59分59秒9(60分間計)まで計測でき、以後、自動的に0に戻って計測し続けます。

## ■計測のしかた

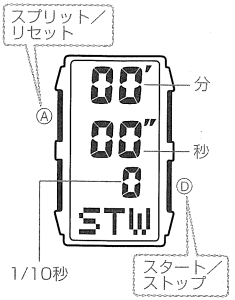
ストップウオッチモードのとき、

**Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします**

➔1/10秒単位で計測を行ないます。

★計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります(“SPL”表示)。

★計測終了後Ⓐボタンを押すと、計測値が0に戻ります(リセット)。



## ● 通常計測

Ⓓ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　ストップ　リセット

＜積算計測＞
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

## ● スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ → Ⓐ → Ⓐ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　スプリット計測　スプリット解除　ストップ　リセット
└ スプリットタイム表示 ┘

## ● 1・2着同時計測

Ⓓ → Ⓐ → Ⓓ → Ⓐ → Ⓐ
スタート　1着ゴール　2着ゴール　2着タイム表示　リセット
（1着タイム表示）



# 時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

## ■時刻・カレンダーのセット（ホームタイム都市の設定）

(1)時刻・カレンダーモードのとき、

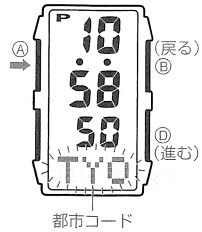
**Ⓐ ボタンを約２秒間押します**

➔「都市コード」が点滅します。

(2)ホームタイム都市を選ぶ

**Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します**

➔Ⓓ または Ⓑ ボタンで「都市コード」を選びます（19ページ「■都市コード一覧」参照）。
※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※ホームタイム都市を設定してから、時刻セットを行なってください。



### (3)サマータイム（DST）のON／OFFを選ぶ

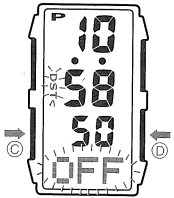
**Ⓒ ボタンを押します**

➔ON または OFF が点滅します。

※OFF ＝サマータイム OFF（通常時間）
ON ＝サマータイム ON（夏時間）

**Ⓓ ボタンを押します**

➔ON または OFF が切り替わります。




### (4)「秒」合わせ…± 30 秒以内の遅れ／進みの修正

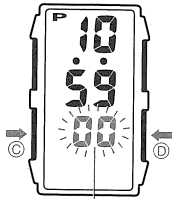
**Ⓒ ボタンを押します**

➔「秒」が点滅します。

**時報に合わせて Ⓓ ボタンを押します**

➔「00 秒」からスタートします。

※秒が 00～29 のときは切り捨てられ、30～59 のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります（時報は「時報サービス 117 番」が便利です）。



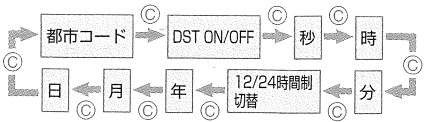

00秒になる



### (5)「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓒ ボタンを押します**

➔Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



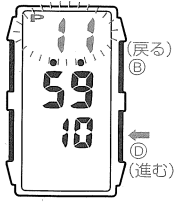




b. **Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します**

➔Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



a. ～ b. の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「12/24 時間制切替」のときは、Ⓓ ボタンを押すごとに 12 時間制表示 “12H” と 24 時間制表示 “24H” とが切り替わります。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。

※「年」は 2000 ～ 2039 年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(6) **Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます**

※点滅表示のまま 1 ～ 2 分間すると、自動的に点滅が止まります。



memo

# 製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精度：平均月差±15秒以内

表示方式：FE型液晶デジタル表示

基本機能：時刻表示＝時・分・秒、午前／午後(P)／24時間制表示(24H)
カレンダー表示＝年・月・日・曜日、
フルオートカレンダー(2000～2039年)

ワールドタイム機能：世界27タイムゾーン（40都市）の時刻を表示、
サマータイム設定機能

データバンク機能：1件につき24文字のデータを最大15件まで記憶

アラーム機能：時刻アラーム
セット単位＝時・分、アラーム音＝10秒間
時報　毎正時に2回電子音で報時
都市（ホームタイム／ワールドタイム）選択機能



ストップウオッチ機能：計測単位＝1/10秒
計測範囲＝59分59秒9（60分計）
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、
1・2着同時計測

その他：自動復帰機能、
EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト、
EL オートライト、12/24時間制表示切替、
モニターアラーム

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
ワンチップ　CMOS-LSI

使用電池：CR-1216（電池別途販売）

電池寿命：約2年
（電子音10秒間／日、ライト1回／日使用した場合）
※ただし、ライトの使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。
●1日当たりライト5回使用…約15ヶ月

# ご使用上の注意

## ■防水性

● 表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されているもの。

| | BAR無し | 5BAR | 10BAR | 20BAR |
|---|---|---|---|---|
| 洗顔、雨 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 水仕事、水泳 | × | ○ | ○ | ○ |
| ウインドサーフィン | × | × | ○ | ○ |
| スキンダイビング（素潜り） | × | × | ○ | ○ |

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※ 専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

● **表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないもの。**
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
● 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
● 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください（特殊な治具を必要とします）。
● 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。



## ■バンド

● バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

## ■温度

● 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
● +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

## ■ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけると、故障の原因になります。

## ■磁気

● 時計機能には影響ありません。

## ■薬品類

● 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

## ■保管

● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

## ■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光部品のケース／バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

● 長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。
● 長時間、濡れたままにしておくと色が落ちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
● 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
● プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

## ■塗装部品のお取り扱いについて

塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。

● 塗装部品は使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗したり、色落ちすることがあります。



● 塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

## ■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

## ■EL パネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見えることがあります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

## ■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えを取っておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

# お手入れについて

## お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

## お手入れを怠ると

●「サビ」
- ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
  ※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
- 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
- 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。



# 電池交換について

## 最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

## 消耗

●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

## 電池交換

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行ないます（防水検査は別途有料となります）。